

令和2年11月27日

学生各位

香川県立保健医療大学長

### 新型コロナウイルス感染症対策の徹底について(依頼)

新型コロナウイルス感染症については、全国的にも感染者が急増しており、また、県内においても、9月12日以降、「準感染警戒期」としてはありますが、新たな感染者の発生が相次いでいます。

学生の皆さんは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、引き続き気を緩めることなく、以下のことを遵守して、新型コロナウイルスの感染拡大のリスクを高めるような行動を慎み、体調管理に努めるよう理解と協力をお願いします。

- 感染拡大地域※への不要不急の移動は慎重に検討するとともに、当該地域に移動した場合は、帰県後14日間は必ず行動記録を取ること  
※新規感染者数が5人以上/人口10万人当たり/1週を目安とする
- 発熱等の症状がある場合は、都道府県をまたぐ移動はもとより、外出を控えること
- 業種ごとの感染拡大予防ガイドライン等に基づく感染防止策が徹底されていない施設等への外出を控えること
- 大人数での会食や飲み会を避け、会食をする際には、座席間隔の確保や大声を出さないこと、換気などの3密回避を徹底すること
- 大声を出す行動（カラオケやイベント、スポーツ観戦等で大声を出すなど）を自粛すること
- 感染リスクが高まる「5つの場面」(別添参考)には特に注意すること
  - 場面①：飲食を伴う懇親会等
  - 場面②：大人数や長時間におよぶ飲食
  - 場面③：マスクなしでの会話
  - 場面④：狭い空間での共同生活
  - 場面⑤：居場所の切り替わり

また、登校にあたっては、引き続き、以下にご留意いただきますよう理解と協力をお願いします。

なお、今後の状況変化に応じて、新たな対応を取る場合は、ホームページでお知らせしますので、確認をお願いします。

#### 〈登校に際しての注意事項〉

- ①登校前に体温を測定し、体温や健康状態を確認・記録する。
- ②発熱やのどの痛み、咳等の風邪症状が見られる時は、かかりつけ医等の地域で身近な医療機関に電話で相談するとともに、学年担任の教員に連絡して休む。

- ③息苦しき、強いだるさ、高熱等の強い症状がある場合は、「香川県新型コロナウイルス健康相談コールセンター」に相談し、学年担任の教員又は本学教務担当に電話で報告・相談を行う。

「香川県新型コロナウイルス健康相談コールセンター」

電話番号 0570-087-550（専用ナビダイヤル）

相談日時 土曜日・日曜日・祝日を含む毎日24時間

- ④可能な限りマスクを着用し登校する。市販のマスクが入手できない場合は、手作りマスクなどを着用する。
- ⑤公共交通機関を利用して通学する場合は、マスクを着用するとともに、咳エチケットを心がけ、感染防止に注意を払う。
- ⑥自宅で検温できなかった学生は、事務局にあるセンサー式の体温計で体温チェックを行う。
- ⑦学内では可能な限りマスクを着用し、手洗いやアルコールによる手指消毒、咳エチケットを心がける。
- ⑧学内では可能な限り人との間隔を開けて行動するほか、大人数で集まらないように心がける。

◆香川県感染情報

[https://www.pref.kagawa.lg.jp/content/dir1/dir1\\_6/dir1\\_6\\_2/wt5q49200131182439.shtml](https://www.pref.kagawa.lg.jp/content/dir1/dir1_6/dir1_6_2/wt5q49200131182439.shtml)

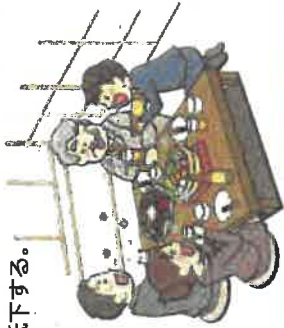
【本学の連絡先】087-870-1212（平日午前8時30分～午後5時15分まで）

# 感染リスクが高まる「5つの場面」

## 場面①

### 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



## 場面②

### 大人数や長時間におよぶ飲食

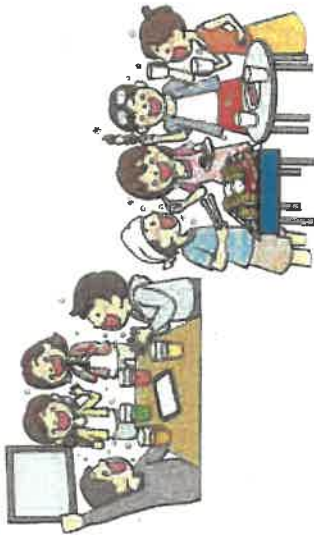
- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のほしご酒では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



## 場面③

### マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、居カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の間中でも注意が必要。



## 場面④

### 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



## 場面⑤

### 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

